

特定事業として選定した埼玉県障害者センターＥＳＣＯ（Energy Service Company）事業に係る事業者を選定したので、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成１１年法律第117号）第８条の規定に基づき、その結果を公表します。

平成２０年 ８月 １日

埼玉県知事 上田 清司

埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業に係る事業者選定について

第１ 事業者の選定

１ 選定会議の設置

学識経験者及び本県職員で構成する「埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案選定会議（以下「選定会議」という。）」を設置しました。

選定会議の委員は、以下のとおりです。

委員長	高村 淑彦	（東京電機大学工学部機械工学科教授）
副委員長	津久井千章	（埼玉県総務部副部長）
委員	島崎 規子	（城西国際大学経営情報学部総合経営学科教授）
	岸田 健	（財団法人省エネルギーセンター理事）
	藤尾 勉	（埼玉県都市整備部設備課長）
	峰川 正三	（埼玉県社会福祉事業団障害者交流センター所長）

２ 選定方法

選定会議において、「埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案審査要領（以下「審査要領」という。）」に基づき審査しました。

３ 事業者の募集及び選定スケジュール

(1) 募集要項公表（埼玉県ホームページに掲載）	平成２０年 ４月 ３日(木)～
(2) 募集要項等に関する質問受付 （埼玉県ホームページに掲載）	平成２０年 ４月 ３日(木) ～ 平成 ２０年 ４月 ９日(水)
(3) 参加表明書及び資格確認書類の受付	平成２０年 ４月 21日(月)
(4) 参加資格確認結果及び提案要請書の送付	平成２０年 ４月 23日(水)
(5) 現場ウォークスルー調査	平成２０年 ４月 28日(月)
(6) 提案書の受付	平成２０年 ６月 23日(月)

- | | |
|---------------------|----------------|
| (7) 第1回選定会議の開催 | 平成20年 4月22日(火) |
| (8) 第2回選定会議の開催 | 平成20年 7月16日(水) |
| (9) 第3回選定会議の開催 | 平成20年 7月22日(火) |
| (10) 優先交渉権者等の選定結果公表 | 平成20年 7月28日(月) |

第2 選定結果

1 応募者一覧

次の応募者から提案応募がありました。

No	代表構成員	構成員
1	東京電力株式会社 埼玉支店	日本ファシリティ・ソリューション株式会社 株式会社山武 株式会社泉屋工務店 日本環境マネジメント株式会社
2	NKSコーポレーション株式会社	共成建設株式会社 株式会社シンエイ

3 選定事業者

選定会議で審査した結果、次のとおり選定されました。(別紙「審査の講評」のとおり。)

(1) 最優秀提案者

東京電力株式会社埼玉支店・日本ファシリティ・ソリューション株式会社・株式会社山武
株式会社泉屋工務店・日本環境マネジメント株式会社のグループ

4 優先交渉権者等

「埼玉県障害者交流センターE S C O事業提案募集要項」及び「埼玉県障害者交流センターE S C O事業提案審査要領」規定に従い、最優秀提案者を優先交渉権者と決定しました。

第3 評価の結果

1 提案審査結果

審査要領で規定するE S C O提案審査評価項目に従い総合的に審査し、総合得点の最も大きい提案が最優秀提案に選定されました。

E S C O 提案審査評価項目表

評価項目	応募者	
	A	B
① 15年間の利益総額が大きいこと。	18.4	25.0
② 契約期間中の各年の県利益がある程度見込まれること。	10.0	15.0
③ 光熱水費削減額と省力化による削減額を合算した削減保証額が高いこと。	23.2	25.0
④ 対象建物全体の省エネルギー率が8%以上であり、省エネルギー効果が十分にあること。	22.3	25.0
⑤ 二酸化炭素排出の削減効果が高い等、地球温暖化対策に有効であること。	18.7	25.0
⑥ 資金調達計画が信頼できること。	16.7	10.7
⑦ ESCO事業に係る補助金等の採択基準に合致すること。	6.3	4.0
⑧ ESCO設備に起因する環境負荷（騒音、振動、大気汚染物質等）の対策が考慮されていること。	9.5	6.5
⑨ 技術提案に具体性・妥当性があること。	22.5	11.7
⑩ 提案に独自性や特殊なノウハウが含まれること。	20.8	12.5
⑪ 既設機器の更新に係る改修が考慮されていること。	21.7	12.5
⑫ ESCO設備対象項目が充実していること。	14.7	8.7
⑬ 維持管理、計測・検証方法及び運転管理方針の提案に具体性・妥当性があること。	21.7	11.7
⑭ 省力化を実現する提案に具体性・妥当性があること。	21.7	10.8
⑮ 優れた品質管理を行い、期限までに確実に工事を完了し、県にESCOサービスの提供ができること。	17.3	8.7
⑯ 契約期間終了後の対応について提案があること。	10.0	6.0
⑰ 提案が全体としてバランスが優れ、プレゼンテーションの内容が分かりやすいこと。	11.5	5.5
合計	287.0	224.3
順位	1	2

2 VFM (Value for Money) の算出

本事業を特定事業（PFI事業）として選定する際に用いた前提条件を基に、最優秀提案によるPFI事業と、県が直接事業を実施する場合の負担額を、現在価値換算額で比較しました。

この結果、最優秀提案は、県が直接実施する場合に比べて、現在価値に換算して、財政負担が10.8%削減されることとなります。

第4 最優秀提案の概要

- | | | |
|---|------------------------------|---------------------|
| 1 | 省エネルギー率 | 22.4% |
| 2 | 二酸化炭素削減率 | 27.5% |
| 3 | 提案省エネルギー手法 | |
| | (1) 熱源機の高効率化とボイラ更新 | |
| | (2) プールの加温および床暖房用熱源の高効率化 | |
| | (3) 照明設備の高効率化 | |
| | (4) 給排気ファンの間欠運転 | |
| | (5) 節水栓の導入 | |
| | (6) 遠隔管理による中央監視業務の省力化 | |
| | (7) 設備常駐者との連携による空調設備保守点検の合理化 | |
| 4 | 各年の光熱水費等削減額 | 46,079千円/年 |
| 5 | 光熱水費等削減率 | 57.4% |
| 6 | 年間光熱水費等削減保証額 | 45,100千円/年 |
| 7 | ESCO契約期間 | 11年間 |
| 8 | ESCOサービス料 | 44,100千円/年(補助金無の場合) |

埼玉県総務部管財課(設備担当)

住所 〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号

電話 048-830-2598(設備担当直通)

FAX 048-830-4743

別紙

埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業に係る 提案審査の講評について

本事業は、障害のある人の社会活動の拠点である公の施設へのＥＳＣＯ提案公募であり、省エネルギー設備改修及び中央監視業務等について応募者の独自性あるノウハウを生かした提案を広く求めたところ、東京電力株式会社埼玉支店・日本ファシリティ・ソリューション株式会社・株式会社山武・株式会社泉屋工務店・日本環境マネジメント株式会社、NKSコーポレーション株式会社・共成建設株式会社・株式会社シンエイの２グループから応募がありました。

埼玉県による事前の省エネルギー診断では、１８．７％の省エネルギー率を見込んでいましたが、応募提案はいずれもこの値を上回る省エネルギー効果が見込まれる内容でした。

これらのＥＳＣＯ提案を、埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案審査要領に基づき、提案書、応募者によるプレゼンテーションなどについて事前に公表した審査要領に従って審査を行い、各委員の評点を合計する形で順位付けをしました。

その結果、総合評点の最も高い東京電力株式会社埼玉支店のグループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とする事としました。

東京電力株式会社埼玉支店のグループの提案は、熱源機器の更新、照明設備の高効率化、遠隔監視システムの導入による省力化など、財政面、技術面、環境面でバランスのとれた提案となっていました。特に、品質安全連絡会、省エネ・環境講座を定期開催し、これをPDCAサイクルによることで、サービスレベルを低下させないなどの具体的な工夫がありました。

また、NKSコーポレーション株式会社のグループの提案は、空調機器の制御システムに独自性が見られたものでした。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重なるご提案をいただいた応募者各位に心からお礼申し上げます。

平成２０年７月２８日

埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案選定会議

委員長	高村 淑彦
副委員長	津久井 千章
委員	島崎 規子
委員	岸田 健
委員	藤尾 勉
委員	峰川 正三